

単元		年組番	4問
六年「文脈を考えて読もう」読むこと		氏名	

一 次は、田中さんの町で夏休みに行われる「農産物祭り」について書かれた文章の一部です。ア・イの中に入る言葉の組み合わせとして正しいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を○で囲みましょう。

今年も夏休みに、各地の野菜や果物などを販売したり、それらを使った料理を紹介したりする「農産物祭り」が行われる。祭りの会場には、いろいろな店が出る。昨年は、四十の店が出た。今年は、六十の店が出る予定である。祭りに集まる人の数は、店の数に関係があるということが分かっている。店の数が多い年にはたくさんの人が集まり、少ない年にはあまり集まらない。こうしたことから、今年の祭りに集まる人の数は、昨年集まった人の数よりも ということが予想される。なぜなら、今年、店を出す予定の数は、昨年、店を出した数よりも からだ。



昨年の店の数は？
今年の店の数は？
どちらが多いのかな？

- 1 ア 少なくなる イ 多い
- 2 ア 多くなる イ 少ない
- 3 ア 少なくなる イ 少ない
- 4 ア 多くなる イ 多い

二 次は、ある物語のはじめで、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」について書かれた場面の一部です。ア・イ・ウの中に入る人物を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きましよう。

「読まなくても、見るだけでいい」おじいちゃんに言われ、ぼくは三枚の紙をひとつおじいちゃんに返した。おじいちゃんに「やっぱ何が書いてあるか、わかんないよ」と言って、すぐに紙を返した。おじいちゃんに「おじいちゃんに返した。もしもそのとき、部屋に母さんがいたら、とんでもないことになっていたらどう？」おじいちゃんに「おじいちゃんに言われたことでも、顔を真っ青にして にあやまるか、さもなければ真っ赤になって、こんなふうになって をしかる。」おじいちゃんに「おじいちゃん、おじいちゃんに言われたことでも、顔を真っ青にして をしかる。」おじいちゃんに「おじいちゃん、おじいちゃんに言われたことでも、顔を真っ青にして をしかる。」おじいちゃんに「おじいちゃん、おじいちゃんに言われたことでも、顔を真っ青にして をしかる。」

ア 母さん

イ おじいちゃん

ウ ぼく

単 元		年 組 番	2 問
六年「文脈を考えて読もう」読むこと			
氏名			

次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きが体の動きに表れます。しかし、それと同時に、体を動かすことで、心を動かすこともできるのです。泣くと悲しくなったり、笑うと楽しくなったりするということです。

私たちの脳は、体の動きを読み取って、それに合わせた心の動きを呼び起こします。ある実験で、参加者に口を横に開いて、歯が見えるようにしてもらいました。このときの顔の動きは、笑っているときの表情と、とてもよく似ています。実験の参加者は、自分たちがえがおになっていることに気づいていませんでしたが、自然とゆかいな気持ちになっていました。このとき、脳は表情から「今、自分は笑っている」と判断し、笑っているときの心の動き、つまり、楽しい気持ちを引き起こしていたのです。

表情によって呼吸が変化し、脳内の血液温度が変わることも、私たちの動きを決める大切な要素の一つです。人は、脳を流れる血液の温度が低ければ、こちよく感じる事が分かっています。笑ったときの表情は、笑っていないときと比べて、鼻の入り口が広くなるので、多くの空気を吸いこむと、脳を流れる血液が冷やされて、楽しい気持ちが生じるのです。

私たちの体と心は、それぞれ別々のものではなく、深く関わり合っています。楽しいという心の動きが、えがおという体の働きに表れるのと同様に、体の動きも心の動きに働きかけるのです。何かいやなことがあったときは、このことを思い出して、鏡の前でにっこり笑顔を作ってみるのもよいかもしれません。

一 筆者の考えは、第四段落に書かれています。

その考えのもとにしている事例を二つ挙げましょう。

○参加者に口を横に開いて、歯が見えるようにすることで、参加者が自然とゆかいな気持ちになった実験の事例から

○脳を流れる血液の温度が低ければこちよく感じる事ができる、つまり、えがおになってたくさん空気を吸いこむと、脳を流れる血液が冷やされて楽しい気持ちが生じるという事例から

二 この文章に対するあなたの考えを自分の立場を明確にし、体験と結んで書きましょう。

(例)

私も、筆者の考えに賛成です。その理由は、表情が気持ちに関係すると考えるからです。その根拠は、私自身、別に不機げんではなかったのに、口をとがらせていると、いつの間にか、つまらない、面白くない気分になってきた経験があった点にあります。

